

工事監理の状況に関する報告書（鉄骨造編）＜中間検査チェックリスト＞

事 項	確認を行った 部位、 材料の 種類等	照 合 内 容	照 合 方 法	照 合 結 果
支持地盤の種類・地耐力	地 盤	1. 支持地盤の種類（ ） 地耐力（ t / m^2 ） 確認方法（ ☐ 目視、 ☐ 標準貫入試験、 ☐ 載荷試験、 ☐ その他）		適・不適
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料（接合材料を含む）の種類、品質、形状及び寸法並びにそれら材料の接合状況、接合部分の形状等	基 礎	2. 基礎の材質、部材寸法等は設計図書どおりか。 3. 基礎に耐力上問題となる不良箇所がないか。 4. 杭の工法、材質、径、本数、長さ及び位置等は設計図書どおりか。		適・その他（ ） 適・不適 適・その他（ ）
	鋼 材	5. 柱、はり等の鋼材の種類、品質、形状、寸法等は設計図書どおりか。		適・その他（ ）
	床 材	6. 床材の種類、品質、形状、寸法等は設計図書どおりか。 7. デッキプレート使用の場合の溶接状況、端部ピッチ等は適正か。		適・その他（ ） 適・不適
	溶 接	8. 溶接の形状、検査結果等は適切か。		適・不適
	継手部	9. 仕様、接合方法は設計図書どおりか。 10. 高力ボルトの種類、品質、形状、寸法等は設計図書どおりか。 11. 高力ボルト相互の中心間隔は径の2.5倍以上か。 12. 高力ボルト孔の径は許容値以内か。		適・その他（ ） 適・その他（ ） 適・不適 適・不適
	ブレース	13. ブレースの種類、品質、形状、寸法等は設計図書どおりか。		適・その他（ ）
	横補剛	14. 横補剛材の種類、箇所数、位置等は設計図書どおりか。		適・その他（ ）
	柱 脚	15. 柱脚の種類、寸法、配筋等は設計図書どおりか。 16. アンカーボルトの種類、品質、形状、寸法等は設計図書どおりか。 17. ベースプレートの寸法、厚さ、位置等は設計図書どおりか。		適・その他（ ） 適・その他（ ） 適・その他（ ）
	応力を伝えない接合部	18. エキスパンション・ジョイント等の接合はあるか。 19. エキスパンション・ジョイント等の接合状況は適正か。		有・無 適・不適
	その他	上記並びにその他設計図書に指定されているものと変更はないか。		☐ 変更無し ☐ 変更有り

工事現場での表示	確認表示板	表示の有無について		適・不適
敷地の形状、高さ、衛生及び安全	接道の長さ 道路後退 高低差	2m≤()m 後退(有・無)*有の場合(後退済・後退未完) 変更(有・無)		適・不適 適・不適 適・不適
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ	建物配置 壁面後退 建物高さ	変更(有・無) 地区計画(有・無) 高度地区(有・無) 絶対高さ 道路斜線 隣地斜線 北側斜線		適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適
構造耐力上主要な部分の防 腐、防蟻措置 及び状況				
天井及び壁の 室内に面する 部分に係る仕 上げの材料の 種別及び厚さ				
開口部に設け る建具の種類 及び大きさ				
建築設備に用 いる材料の種 類並びにその 照合した内 容、構造及び 施工状況(区 画貫通部の処 理状況を含 む)				
照合を行った設計図書		☐ 申請図面、 ☐ 構造計算書、 ☐ 公庫仕様書 ☐ その他の図書()		
設計図書の内容について 設計者に確認した事項				
建築主に対して行った 報告の内容				
備 考				

【記入上の注意】

- 「照合内容」欄に該当しない項目がある場合は、＝線で消してください。
- 「照合結果」欄が「その他」となる場合は、その仕様、寸法等を()内に記入してください。
- 接合状況のうち、鋼材等の金属材料の溶接又は圧接部分に係る内部欠陥の検査、強度試験等の確認については、当該部分に係る検査を行った者の氏名及び資格並びに当該検査に係るサンプル数及びその結果並びに鉄骨加工工場が昭和56年建設省告示第1103号第2号の規定に基づく認定を受けている場合にあっては、当該認定番号及び認定年月日を記載してください。
- 材料のうち、コンクリートについては、四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等の試験又は検査を行った者、試験等に係るサンプル数及び試験等の結果について記載してください。